

## 繁殖性に優れた大ヨークシャー種系統豚「アイリスW3」の開発

農業総合試験場 畜産研究部 養豚研究室 内倉健造<sup>うちくらけんぞう</sup>

愛知県は、全国で唯一、三元肉豚の親となる3品種（ランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種）の系統豚すべてを、自県で供給している。本年度、農業総合試験場は、大ヨークシャー種系統豚「アイリスW2（平成15年度開発）」に代わり、新たに、能力がより向上した「アイリスW3」を開発した。

### 1. 開発の経緯

農業総合試験場では全国に先がけ、昭和45年から豚の系統豚開発に取り組み、これまでに3品種6系統を開発してきた。農業総合試験場が開発した系統豚は畜産総合センターで維持・増殖され、県内の養豚農家等に供給している。

系統豚は、利用期間中の近親交配により、繁殖能力などが次第に低下するため、一定期間ごとに新たな系統に更新する必要がある。

このため、平成22年度から大ヨークシャー種「アイリスW2」に代わる系統豚の開発に取り組んだ。

### 2. 開発経過

平成22年度に畜産総合センターの「アイリスW2」を含む国内7農場より60頭のもと豚を導入した。

改良目標を総産子数11.5頭、離乳時総体重60kgとし、1年1世代で交配と選抜を繰り返した。平成28年度9月に第5世代豚の選抜を終え、開発を完了した。

### 3. 「アイリスW3」の特徴

「アイリスW2」に比べて、以下の点が向上した。

- (1) 平均産子数が増加した。(11.2頭→11.6頭)
- (2) 哺乳能力が向上した。  
(21日齢の離乳時子豚総体重 53.6→60.3kg)

### 4. 今後の予定

平成29年秋から畜産総合センターより農家への譲渡が開始される。